



品質・環境・安全衛生方針

基本理念

岡谷電機産業グループの品質環境安全衛生方針は、市場ニーズ把握による製品企画から、生産、販売、サービスに至るまで、一連のマネジメントシステムを充実させ、これらの的確な運営によって“顧客”毎の満足・感動を提供しその結果顧客からの安心感を得てその結果が信頼へ醸成していくものとする。そのために、「環境にやさしく、最も適切な時期に、最も経済的に、常に安定した品質の製品を」誠意をもって提供し続けることにより実現を図る。

また、顧客からの環境要求事項や環境法規制を順守し、環境にやさしい製品を、誠意をもって供給することにより、顧客満足&感動はもちろんのこと、地球環境との共生を図り、次世代に住み良い地球と豊かな社会の実現を目指す。これらを実施するには、企業として社員の安全衛生面の改善、特に社員が安全で安心な働き甲斐のある職場づくりを実施し、実現スパイラルを廻す。

行動指針

スローガン:「顧客価値創造によるカスタマー・トラストの実現へ」

サブスローガン:「出来るか出来ないかを検討するのではなく、どのようにやれば出来るかの方策を考え実現できる行動をとる」

全社員は、お客様(個客)の立場に成り代わって「こうして欲しい」、「こんなことが出来たら」というようなお客様の顕在ニーズ&ウォンツやお客様が思いもつかなかったが実は前から「こう出来たらよいのになあ」といった潜在ニーズを少しでも掘り起こし、実現し、お客様に感動して頂く活動を徹底することによって OKAYA への信頼感を持って頂く活動を繰り返す。一度きりでなく繰り返さないと意味がない。これが強い OKAYA の姿であり、また、顧客と価値(お客様が思い描く期待)を共有することにより、この期待を一気に超えて達成させることにより顧客感動を実現する。直接お客様に接しない者(営業や設計開発、品質保証以外の者)は、社内の次工程をお客様に見立てて同様な活動を徹底することにより顧客感動へ連鎖させる。このような方針を徹底し達成することで、持続可能な成長企業確立を目指す。これが勝ち続ける OKAYA の姿である。これを実現するためにも社員の安全衛生改善は必須である。

各拠点において、地区・該当製品・自技術・顧客要求の特徴を的確に捉え、基本理念に則した環境保全・安全衛生活動を行うと共に、その継続的活動を一人一人が連鎖推進展開する。又、顧客要求事項を満足するために環境負荷物質の管理・撲滅に取り組むとともに以下の6点を重点志向として位置づけて活動する。

1. 特別視した活動ではなく、“OKAYA 流”をベースに環境活動を推進する
環境活動においては経費削減活動とのバランスをとりながら日常活動の中から改善点を見つけ成果を出していく。
2. 製品開発における環境保全への取り組み
使用材料、製造工程、流通、顧客での使用と廃棄物等の各段階における環境の軽減に配慮し、環境にやさしい製品を開発する。
3. 環境関連法規の遵守
環境に関する法規制を遵守すると共に、関連する団体の環境配慮事項を尊重し、積極的に情報公開を行う。
4. 事業活動における環境負荷の軽減削減の推進
重点項目として、単なる紙・ゴミ・電力・リサイクル率を良化するのではなく、環境活動を広く捉えて、OKAYA 全体の“経費を削減する”ことを推進することで、結果、環境負荷を低減する活動に結び付ける。
5. 環境保全活動の継続的な推進
環境目的・目標は定期的に見直すと共に、実施プログラム結果の記録等で継続的な向上を図り、環境負荷の低減と汚染の予防に努める。その結果は、「内部監査」を実施し継続的に監視していく。
6. 全社員並びに関係者への周知
環境教育や社内広報活動等を通じ、全社員に対し環境方針の理解と環境意識の向上を図ると共に、パートナー(供給者、顧客)にも環境方針の理解と協力を要請する。

以上を推進することによって、顧客の信頼を獲得するとともに、岡谷の業績寄与(経営数値的視点だけでなく、顧客からの賛辞や経費削減対策の視点からの環境側面への好影響や、社員の満足度向上等)に貢献する。

2011年5月25日
岡谷電機産業(株)代表取締役 社長(COO)

山岸久芳